

川崎市洪水ハザードマップ 川崎区版



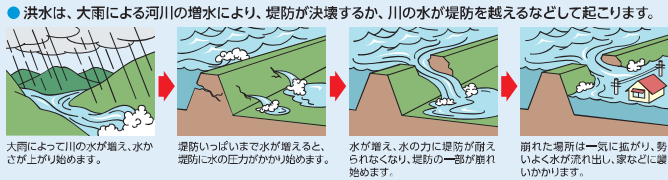
「意識と準備が命を守る！」

洪水ハザードマップとは、河川が大雨によって氾濫した場合に、洪水浸水想定区域や避難場所を示したものです。



洪水から身を守る

① 洪水発生メカニズム



② 洪水浸水想定区域の考え方



③ 都市型水害について知る

●大規模な洪水以外にも、都市は舗装された道路や宅地が多く、降った雨は地中に浸透しにくい... (低地の冠水、地下への浸水、中小河川の増水氾濫、過去の浸水)

④ 洪水からの避難

- 洪水の危険が迫った際には、川崎市から対象の地域に避難を呼びかけます。●お住まいの環境によって、適切な避難行動に違いがありますので、右ページの判断フローを参考に、ご自身の避難行動や避難先をあらかじめ検討しておきましょう。

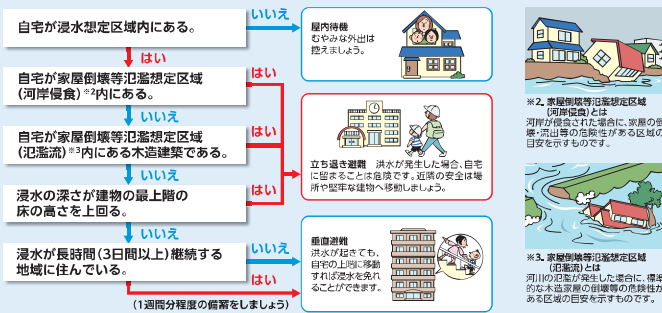
⑤ 避難に関する情報

避難準備・高齢者等避難開始、避難勧告、避難指示(緊急)のそれぞれの特徴と対応方法を説明するボックス。

⑥ 水位に関する情報

Table with columns for 'Water Level' (水位) and 'Correspondence in Kawasaki City' (川崎市の対応). Rows include flood occurrence, danger levels, and safety measures.

⑦ 状況に応じた避難行動



- ＜屋外に避難するときの注意点＞ 動きやすい服装を心がけ、靴はヒモで締められる運動靴を履くようにする。
＜助け合い(共助)＞ 近くにお住まいの高齢者、障害者、妊婦、幼児、外国人、または旅行者など一人で避難することが難しい方がいます。

我が家の防災メモ

ハザードマップを使って我が家の防災メモを完成させましょう！！

① 自宅の災害リスク

Table for assessing home disaster risk based on flood depth (0.5m to 10.0m+).

② 避難方法

- 「状況に応じた避難行動」を確認し、避難方法を確認しましょう。
 屋内待機 垂直避難 立ち退き避難

③ 避難場所と避難経路

Form for recording evacuation locations (避難場所1, 2, 3) and routes (避難経路).

④ 非常持出品

Form for recording emergency items (非常持出品) and their storage locations (保管場所).

⑤ みんなの約束

Form for recording family or neighborhood agreements (家族やご近所での約束事).

がけ崩れから身を守る

① 土砂災害警戒区域とは

●「土砂災害警戒区域等における土砂災害防止対策の推進に関する法律(通称:土砂災害防止法)」(平成13年施行)に基づき、土砂災害への注意が必要な区域として、一定規模を超える斜面及びこれに接する区域を、神奈川県が「土砂災害警戒区域」に指定しました。

●急傾斜地崩壊危険区域とは、がけ崩れにより相当数の居住者等に危害が生ずるおそれがある急傾斜地と、がけ崩れが助長・誘発されないようするため、切土、盛土など一定の行為を制限する必要がある土地で、「急傾斜地の崩壊による災害の防止に関する法律(急傾斜地法)」に基づき神奈川県が指定した区域です。

② 急傾斜地崩壊危険区域とは

- 急傾斜地崩壊危険区域とは、がけ崩れにより相当数の居住者等に危害が生ずるおそれがある急傾斜地と、がけ崩れが助長・誘発されないようするため、切土、盛土など一定の行為を制限する必要がある土地で、「急傾斜地の崩壊による災害の防止に関する法律(急傾斜地法)」に基づき神奈川県が指定した区域です。

③ がけ崩れからの避難

- 土砂災害警戒区域の中にあるときに、避難に関する情報が発せられたときには、ただちに安全を確保することが必要です。

④ 避難に関する情報

Information box detailing evacuation actions: safe places to move to (安全な場所への移動), moving to high buildings (近隣の高い建物等への移動), and safety in outdoor locations (屋外の安全な場所への避難).

ハザードマップの使い方

① 自宅を見つけましょう

自宅に洪水が来ることや、げげ前れが起こる可能性を確認しましょう。



② 安全な避難経路を決めましょう

大雨の時に危険となる水路や橋、アンダーパス、浸水の危険性がある箇所や土砂災害警戒区域などの場所を確認し、避難経路を複数決めましょう。



③ 家族で災害時の対応を話し合ひましょう

大雨の際の行動について、家族と話し合ひ、災害時の約束事を決めましょう。



④ 我が家の防災メモを完成させましょう

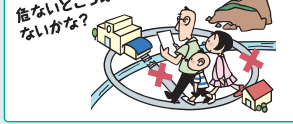
⑤ 避難する場所を確認しましょう

洪水や土砂災害からの避難方法を確認しましょう。立ち退き避難が必要な場合は、適切な避難先を確認し、大きく印をつけるなどして災害時に備えましょう。



⑥ 実際に避難経路を歩いてみましょう

家族やご近所の方と一緒に歩いて、危険な箇所がある場合は、避難経路を見直ししましょう。



⑦ 学校やご近所で考えましょう

学校やご近所で、災害や避難について話し合ひ、情報を共有しましょう。高齢者など、避難に支援が必要と思われる方についても、みんなでできることを考え、避難の際に協力しましょう。



風水害時に役立つ情報

① 川崎市防災情報ポータルサイト(川崎市ホームページから)

- 市内の災害に関する緊急情報、被害情報、避難情報などを掲載します。●日頃からの備えや、川崎市の防災計画なども紹介しています。●外出時の防災対策についてまとめた携帯版の「備える。かわさき」ポータルを紹介しています。●過去10年間の浸水実績を公開しています。

② かわさき防災アプリ

- 川崎市の公式アプリのサービス「かわさき防災アプリ」では、災害時の緊急情報や避難情報などをプッシュ通知で受けられるほか、最寄りの避難所や各種ハザードマップを見ることができます。

③ メールニュースかわさき

- 川崎市から、市内の防災、気象、災害等の情報をメールでお知らせします。●配信を希望する方は右記のメールアドレス宛に空メールを送信してください。

④ 防災行政無線・防災テレホンサービス

- 防災行政無線とは、屋外にあるスピーカーから、市民の皆様へ避難情報や防災気象情報をお知らせするものです。●防災行政無線の放送内容は、電話でも聞くことができます(通常時は啓発放送が流れます)。0120-910-174(通話料なし)県内の一級加入電話、公共電話及び一部のIP電話から044-245-8870(通話料あり)携帯電話、PHS、県外の一級加入電話・公共電話から

⑤ 国土交通省 京浜河川事務所 河川の防災ページ

- 多摩川・鶴見川の浸水想定区域、家屋倒壊等氾濫想定区域、氾濫シミュレーションを見ることができます。

⑥ その他

- ツイッター(アカウント kawasaki_bousai)、緊急速報メール、地上デジタル放送、ケーブルテレビ、かわさきFM(79.1MHz)でも、情報を発信します。

⑦ お問い合わせ先

Table with contact information for disaster response, including departments like Emergency Management and Flood Control, and their phone numbers.

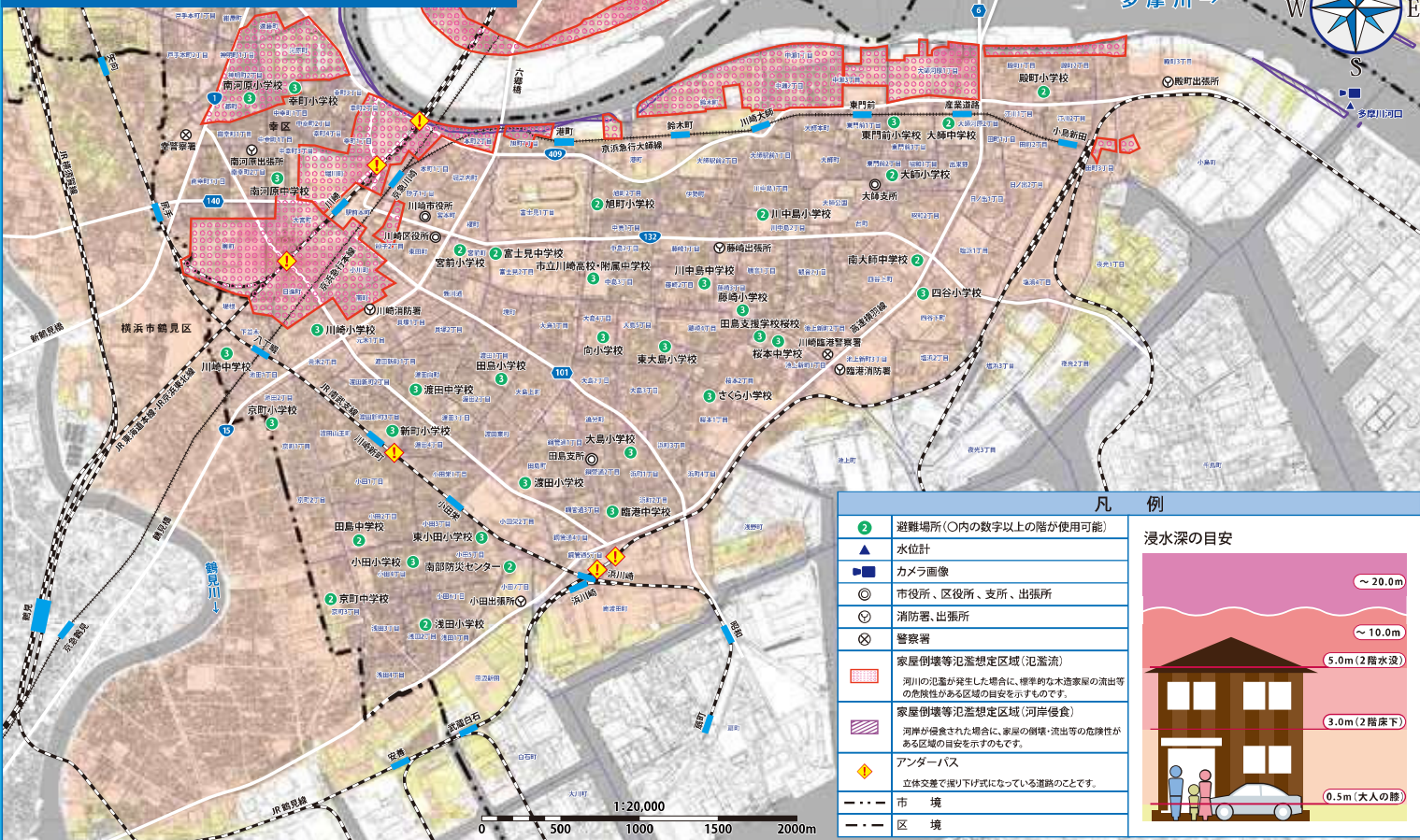
⑧ 緊急連絡先

Table with emergency contact numbers for Police (110) and Fire (119).

洪水浸水想定区域(多摩川水系)

想定雨量 588mm(2日間)

洪水浸水想定区域とは、河川が氾濫した場合に、浸水が想定される範囲、深さを示したものです。



洪水浸水想定区域(鶴見川水系)

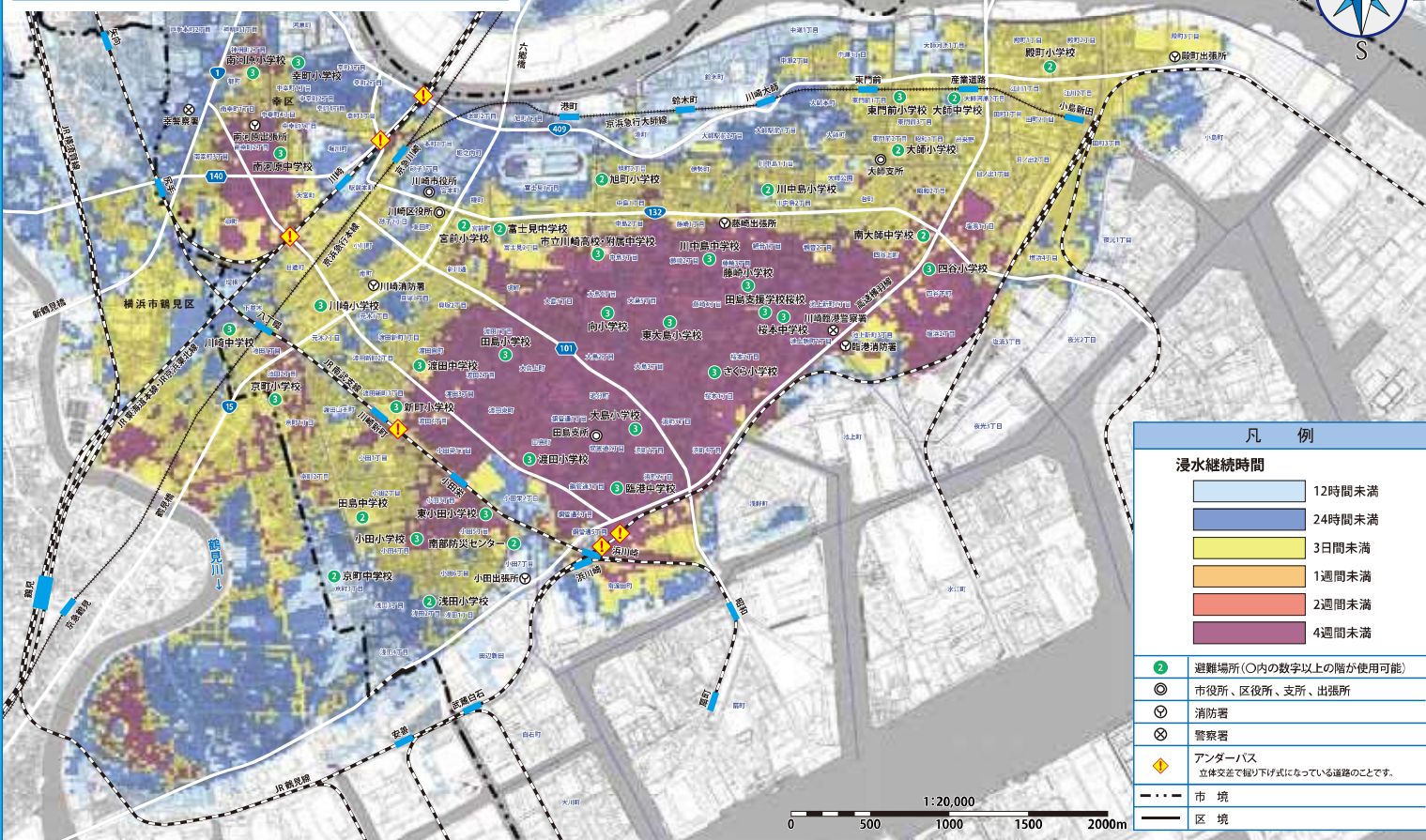
想定雨量 792mm(2日間)

洪水浸水想定区域とは、河川が氾濫した場合に、浸水が想定される範囲、深さを示したものです。



浸水継続時間(多摩川水系)

浸水継続時間とは、洪水により浸水深が0.5m以上となってから最終的に0.5m未満になるまでの時間を示したものです。



浸水継続時間(鶴見川水系)

浸水継続時間とは、洪水により浸水深が0.5m以上となってから最終的に0.5m未満になるまでの時間を示したものです。

